

お子さんの学習を家庭で支援する取組例

「令和6年度全国学力・学習状況調査」小学校国語2三の問題

調査の結果

ア「きょうぎ」の正答率

48.9% (東京都(公立)) 43.4% (全国(公立))

イ「なげる」の正答率

77.3% (東京都(公立)) 76.0% (全国(公立))

これらの調査結果から、漢字を文中で正しく使うことに課題があることが分かりました。

ア きょうぎの作戦を
考えたりします。

正答 「競技」

上級生が遠くから
ボールを イなげる

正答 「投(げる)」

高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたり、部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字でいていないに書きましよう。



漢字の学習において、どのように学習を進めることが大切なのでしょうか。

間違えた漢字を直したり、新しい漢字を学習したりするときは、漢字の読み方や字形に注意しながら、

漢字のもつ意味を考えることが大切!

「きょうぎ」と読む漢字には、どのようなものがあるかな?

うーん。「協議」「競技」「きょう…」…。あまり思い付かないな。

読み方が同じ漢字をもっと調べてみよう。それぞれ、どんな意味があるか一緒に調べてみるとおもしろいよ!

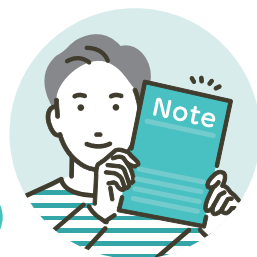
同じ読み方の熟語を調べ、熟語の意味を考えるきっかけを与えてみましょう。

同じ読み方の漢字の意味を知りたいときは、どのように調べることができるかな?

お子さん自身に学習の方法について考えさせてみましょう。

学校で同じ読み方の漢字を調べたときは、国語辞典やタブレット端末を使ったよ。

調べて分かったことをノートにまとめておくといいね。



「きょうせ」と読む熟語

漢字

意味

協議

集まって相談すること。

競技

わざをきそつこと。
運動競技。スポーツ。

経木

①木材を紙のように
うすくけずったもの。
②経文や法名を書く
はば二十五センチほ
どの細長い板。

はじめて学習する漢字は、何度も書いたり、熟語を調べたりすることは多いけれど、こうやって意味を調べると、更に分かるようになるね。

今回の問題だと、「競技」の漢字が正解だとすぐに分かったよ。



熟語の意味を学ぶことの大切さに気付けるようにしましょう。

また、同じ読み方の漢字を更に調べるよう声を掛け、お子さんが主体的に学習に取り組む機会を作りましょう。



漢字のもつ意味を考えることについては、

【令和5年度版】
お子さんの
学力向上のために
必要なこと

でも紹介しています。

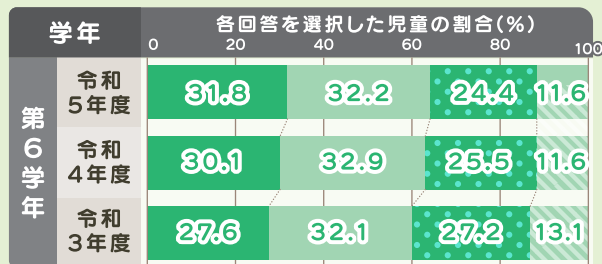
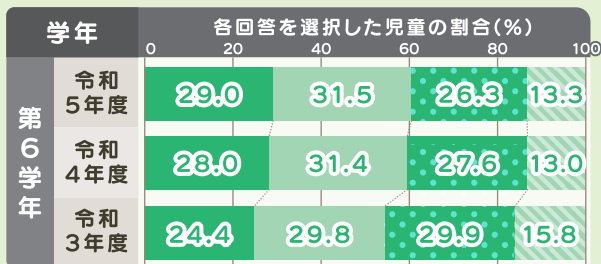


コラム

漢字のもつ意味を考えながら学習することが大切

調査項目5(2)
「漢字の部首の意味も
考えながら覚えている。」

調査項目5(3)
「似た意味や反対の意味の漢字、使われている
熟語などを確かめながら覚えている。」



■ 当てはまる
 ■ どちらかといえば当てはまる
 ■ どちらかといえば当てはまらない
 ■ 当てはまらない

これまでの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、「漢字の部首の意味も考えながら覚えている。」や「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、増加傾向にあることが分かりました。

この結果は、学校で、漢字のもつ意味を考えながら学習することを大切にしたい授業改善の成果だと考えられます。お子さんが御家庭で学習をしているときにも、国語辞典や漢字辞典を使って、似た意味や反対の意味の漢字と一緒に調べるなど、積極的に声を掛けてみましょう。

